

16番	新井 亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
1 市民の命と財産を守るために消防新庁舎の建設を 【質問趣旨】 現在の瀬戸市消防本部の庁舎は1972年に建設され53年が経過している。 令和6年3月に策定された「瀬戸市消防本部 消防新庁舎整備基本構想・基本計画」の概要の冒頭には「建築から50年が経過し老朽化は顕著で、出動動線や安全性などに課題があります」と記されているとおり、市民も消防新庁舎建設の必要性を強く感じている。しかし、現状は消防新庁舎の建設計画は動いていない。平成30年と令和5年の中期事業計画策定時に、建設のための予算要求があったが査定の結果2回とも見送られている。(次ページ)	(1) 瀬戸市消防本部の役割 (2) 瀬戸市消防本部の現状 (3) 新庁舎建設が2回見送られた理由	①南海トラフ地震の発生のおそれや、近年の気候変動による線状降水帯の発生による被害、また救急搬送の増加などからも、瀬戸市消防本部の果たす役割がこれまでに以上に高まっていると考えるが、認識を伺います。 ①建設から53年経過している現庁舎は老朽化が進み、消防機能を維持するための工事や修繕が必要な箇所も多くなっていると聞いているが、どのような状況か伺う。 ②消防新庁舎の建設が1回目の計画通り進んでいれば、令和5年度には新庁舎が稼働していた。建設の見送りで現在までに発生した工事や修繕の内容と費用を伺う。 ③工事や修繕の必要があっても消防機能を維持しながらでは取り掛かることができず、据置かれている部分があれば内容と規模を伺う。 ④建替えをせず現庁舎を継続的に使用すると、老朽化に伴う工事や修繕費がどれくらい必要になるか見通しを伺う。例えば、今年度中に新庁舎建設が決定したとして、基本構想・基本計画は令和6年3月に策定されているため、令和8・9年で設計、10・11年で工事、令和12年度から新庁舎が稼働すると仮定する。最短でも令和11年度まで工事や修繕の費用が必要になるが想定できる範囲で支出額を伺う。 ①建替えが2回見送られた理由を伺う。1回目は平成30年度のタイミングである。中期事業計画で、平成32（令和2）年度から始まる予定だった消防新庁舎建設に係る事業の予算要求額12億7,373万円が査定の結果見送られた。新庁舎建設を見送ることとした理由を伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。

2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。

3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

16番	新井 亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
今回の質問では、消防新庁舎建設が見送られた理由を明らかにし、その時々の方針判断は適切だったのかを検証し、市の財政収支の見通しが大変厳しいと公表されている中で、24時間365日稼働し続ける消防本部の機能が低下することなく維持・向上させていくため、新庁舎建設に舵を切ることを求め、質問を行う。		②平成26年から進められていた小中一貫校整備は、平成30年に9億5,300万円、翌年の令和元年は53億円の支出を伴い、現在ののにじの丘学園校舎が建設された。消防新庁舎整備の査定が見送られたこととの関連について伺う。 ③消防新庁舎建設が2回目に見送られたのが、令和5年度の中期事業計画策定のタイミングである。この年は、消防新庁舎建設に向けて「瀬戸市消防本部 消防新庁舎整備基本構想・基本計画」を策定している年度で、翌年度から設計業務委託や令和8年度からの建設工事のための予算13億3,700万円の要求がされていた。しかし、査定結果は建設工事が見送られ大規模改修へと方針が変更され2億1,500万円へと減額された。理由として「市全体の投資的事業の財政需要増額により、昨年度までの査定を方針変更し、消防新庁舎整備建設工事を見送りとする」と担当課のコメントがあった。 毎年策定されてきた中期事業計画は、投資的事業の計画も含めて見通しを持った計画であったと考えるが、消防新庁舎建設の計画に影響を及ぼした投資的事業の内容について伺う。 ④令和5年12月に策定した中期事業計画と共に、10年先を見通した中期事業計画の財政計画補足資料が配布された。内容は令和6年度から令和8年度までの3年間、全体の要求では毎年多額の収支不足が発生するため、事業のスケジュールや内容、事業費を精査した内示額とする旨の説明であった。計画を見送る理由となった投資的事業の中で、消防新庁舎建設も含まれる「公共建築物整備」の削減割合が大きくなっている理由を伺う。

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

16番	新井 亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(4) 消防新庁舎建設の計画について (5) 消防の広域化と消防新庁舎建設について	⑤令和5年12月に建設から大規模改修に方針変更した説明を受けた直後、令和6年1月には能登半島地震が発生し、市民の災害時の不安は一層高まっていった。令和5年度中に進めていた「瀬戸市消防本部 消防新庁舎整備基本構想・基本計画」は令和6年3月に策定され、概要の冒頭には「建築から50年が経過し老朽化は顕著で、出動動線や安全性などに課題があります」と記されている。令和5年度の経過を踏まえ、令和6年度以降再び消防新庁舎建設の方針に変更しなかった市長の政策判断が適切だったのかが問われていると考える。市長の見解を伺う。 ①令和5年度の中期事業計画で、建替えから大規模改修に方針転換されたが、現状の進捗について伺う。 ②現時点で消防新庁舎建設の計画はどのようなになっているか伺う。 ①令和7年4月から指令センターの共同運用が開始しており、瀬戸市、尾張旭市、津島市、蟹江町、あま市、大治町、弥富市、飛島村、愛西市からの119番通報の受信や出動指令を、名古屋市防災指令センターで行っている。現在は、指令センターの共同運用のみであるが、消防の広域化についても研究中と聞いている。その目的と新庁舎建設に与える影響について伺う。 ②消防の広域化によって新庁舎建設に有利な起債が使える可能性があるかと聞いているが、今後の消防新庁舎の建設とどのような関係があるのか伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

16番	新井 亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(6) 消防新庁舎建設の財源見通し	①令和7年10月に策定された財政収支見通しで本市の財政状況が説明されており、これを読む限りでは「大変厳しい財政が続く」と感じる内容であるが、本市の財政について現状と将来の見通しについて見解を伺う。 ②財政収支見通しは、令和6年度までは第6次総合計画の下に中期事業計画があり、それに基づき財政収支見通しが策定されていたが、現在は中期事業計画が策定されていない。どの事業をいつ実施するかなど、何を根拠に財政の見通しを立てたのか伺う。 ③本市の方針が「消防新庁舎の建設を再開する」と変更になった場合、財政的な見通しはどうか伺う。
	(7) 消防新庁舎建設に対する川本市長の見解	①消防新庁舎建設は市民の命と財産を守るためにも後回しにできない事業であると考え。川本市長の任期中にどのような見通しをもっているか見解と決意を伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。